

少年センターだより

発行 日野町少年センター
〒529-1602
日野町河原一丁目1番地
TEL/FAX 0748-53-1325
<http://www.rmc.ne.jp/h.g-s.c>

夏休みを有意義に過ごしましょう！

具体的な目標を立てましょう

「毎朝6時に自分で起きる」「逆上がりができるようになる」など、身近なことで、毎日継続のできることを目標にしましょう。大人は子どもをたくさんほめてあげることができます。また、子どもは「がんばればできるようになる」という自信を持つようになります。



時間に余裕があるので、普段はできないことにチャレンジしてみよう！

- ①創造力を高める……家にある身近なものを使って物作りをしたり、絵画・工作・書道コンクールの作品を作ったりしましょう。作品は学校などから応募してもらいましょう。
- ②想像力を高める……読書や音楽・芸術鑑賞をしましょう。日野町立図書館には、話題の本や、歌舞伎・落語・ミュージカルなどの伝統芸術のDVDやCDがたくさんあります。
- ③生き方を高める……図書館には、社会のために尽くした人やすばらしい生き方をした人のDVDや本もあります。また、炊事や掃除などの家事をして、生活力をつけましょう。家族の一員であることの自覚にもつながります。
- ④地域力を高める……地域の施設を回ってみましょう。最近日野駅にできた日野駅鉄道ミュージアムや町内の文化財など、改めて地域の良さに目を向けてみましょう。

保護者が上手に関われば子どもが大きく伸びる夏休み！

せっかく子どもが良い計画や目標を立てても、計画倒れになっては意味がありません。大人がしっかりとサポートをしてあげましょう。子どもが計画を立てるときに一緒に考えることや途中で確認することが大切です。少々できていなくても失敗しても、目くじらを立てるのではなくあたたかく見守り、少し余裕を持った形で軌道修正をしてあげましょう。

また、子どもの「生活リズムの維持」をさせることも重要です。夏休みはラジオ体操がありますので、早寝早起きの規則的な生活をさせましょう。不規則な生活は新学期に大きく影響します。

日野町にはこんな子ども達もいます！



初夏、松尾公園での出来事です。東屋付近に誰かが食べた弁当のパックや菓子袋などのゴミが散乱しており、それを見かねてひとりの年輩の大人の方が拾い集めておられました。すると、近くにいた中学生の女子二人が、自発的にゴミ拾いに参加してきたのです。さらに、この中学生の行動を見て別の中学生や遊んでいた小学生が集まり、あっという間に公園はきれいになりました。ゴミはどうか中学生が持ち帰ってくれたようです。大人の姿から学んだ子どものファインプレー！こんな「プチボランティア」を夏休みにやってみよう！

「地域の方々に見守られて」

南比都佐小学校 校長 山本 富美子

「おはよう、気をつけて」小学生だけでなく、通り過ぎる中高生にも、温かい声をかけてくださる地域の方。南比都佐小学校区では、地域の方が、朝横断するのに危険な所に立ってくださったり、帰りに子どもが少なくて心配な所は見守りに来てくださったりしています。子どもたちは地域の温かい目に見守っていただいていると感じます。学校生活でも、田植えや日野菜栽培の時などに直接教えていただくことがあります。「いつもあいさつを交わす人」「日野菜の種取りを教えてくださいました人」のように子どもたちの中には、地域の「知っている人」がどんどん増えていくのだと思っています。知っている人が周りにいることで、子どもたちは安心して安全に生活できることにつながります。

今年も夏休みの季節となりました。コロナウイルスの感染拡大の影響で休みといっても遠くへ出かけることは少ないかと思いますが、家庭や地域で安全に毎日を過ごして欲しいものです。各地でラジオ体操が行われるようです。子どもたちと一緒に地域の老人会や長寿会の方々がラジオ体操をされるところも多いと聞きます。一緒に体操をしたり、あいさつを交わしたりすることで、ここにも子どもたちの「知っている人」が増えていくのですね。人と人がつながること、そのつながりが広がっていき、強くなっていけば、自然と見守っていただける関係ができあがっていくように思います。

「密にならない」と多くの人が集まる場所では言われていますので実際の距離の面では密を避けますが、温かい見守りや日頃のあいさつなど心の部分ではしっかりつながってきたいと思います。



子育て小窓

子どもの頃に好きだった遊びやよくしていた遊びは何ですか？ブランコ、なわとび、おにごっこ、パズル、おままごと等、いろいろな遊びが思い出されます。大人になると子どもの頃の遊びが今の仕事や生活、趣味につながっていることを強く感じます。「そう言えば細かいことが得意だったな」、「人と関わるのが好きだったな」と…。

子どもの時期にしっかりと遊ぶことは人の育ちの土台をつくることにつながります。子どもは遊びを通して多くのことを学び、その経験が大人になってからの大きな力となるのです。好きなことや得意なことは自信となり、遊びから自分の存在する意味や価値を見だし、自己肯定感を高めていくことにもなるでしょう。

ちょうど夏休みですね。子どもが好きなことや得意なことを知ったり、また、お父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃんが子どもの頃に遊んでいたことを話したりし、普段はできない体験と一緒にやってみるのもいいですね。その際には暑さ対策や水分補給を忘れずに、また、生活リズムは崩さないように気をつけましょう。

(日野町子育て・教育相談センター O)

7月は「青少年の非行・被害防止滋賀県強調月間」です

滋賀県では7月を「青少年の非行・被害防止滋賀県強調月間」とし、関係機関・団体、地域住民等が青少年の非行と犯罪被害に対する共通の理解と認識を深め、青少年はもとより、社会全体が規範意識を高め、社会環境の浄化を図るため、さまざまな啓発活動が行われています。

◎重点テーマ

「地域の力で子どもをまもり、はぐくむ」

○重点施策

- ・インターネット・SNS利用に係る子どもの非行・被害防止対策の推進
- ・不良行為および初発型非行防止対策の推進

日野町少年センターでは、少年補導委員会、青少年育成町民会議、「社会を明るくする運動」日野町推進委員会、東近江警察署が協力し、フレンドマート日野店の協力を得て、啓発コーナーを設けさせていただきました。

7月の月間中、より多くの方に関心を持ってもらいたいと、お買い物中のお客様の目につく所に啓発グッズやチラシを置かせていただき、啓発の店内放送もさせていただきました。

また図書館にも、啓発ポスター等掲示と併せて青少年の非行・被害防止に関する図書コーナーを設けていただきました。



啓発コーナーでの様子



大学生の皆さん、中学生に勉強を教えてみませんか？ ～学習サポーター大募集～

日野町少年センターでは、毎週金曜日の夜に子どもの学習支援事業「IPPŌ（一歩）」と、水曜日と金曜日の放課後に自由参加型の学習立ち寄り処「ちょき」を実施しています。対象は高校受験を控えた中学3年生で、教えているのは主に大学生の学習サポーターです。中学生達は、年齢の近い大学生サポーターが大好きで、みんなとても意欲的に学習しています。

町内に在住の大学生の皆さん、学習サポーターとなって中学生に勉強を教えてみませんか？学業、アルバイトなど学生生活も忙しいと思いますが、月に一度でもかまいません。謝礼も少しですがお渡ししています。ぜひ地域の中学生の学力向上のために力をお貸し下さい。センターへの連絡をお待ちしています。

大学生サポーターの声

勉強を教える立場ですが、いろいろな趣味や考え方、中学生でしか思いつかないような発想に触れることが多く、逆に学ばされることがありました。同年代と話すことが多いので中学生との会話はとても新鮮でした。

そうか、
わかった！



「朝のあいさつ運動」が各小学校で広がっています

昨年11月から日野町少年補導委員会では、各小学校で「あいさつ運動」を始めました。今年度になってからも引き続き活動を続けています。昨年度は少年補導委員が中心に行っていましたが、今年度に入ってから、更生保護女性会の皆さんや保護司の皆さんからも協力の声をいただき、各方面に「あいさつ運動」の輪が広がっています。必佐小学校では、数年前から各団体の皆さんが「あいさつ運動」を行っておられ、その輪が他の学校でも広がってきたようです。

「あいさつ運動」を始めてから、今まで小さな声だった子ども達からも元気な声が返ってくるようになりました。また、私達大人も「あいさつ運動」に行くことで子ども達の様子がわかることがあります。あいさつを通して、子どもと、大人と、地域とのいい関係を作っていきましょう。



つぶやき

少年補導委員会で「朝のあいさつ運動」をはじめて半年が過ぎます。

校門前に立っていると、元気な声で「おはようございます」と言う子、うつむき加減で小さな声で言う子、何も言わずに下向いて通りすぎる子等、様々ですが、元気がない子はとても気になるものです。

「お寝坊をして朝ごはんが食べられなかったのかな」、「学校まで遠いのでしんどくなったのかな」、「お家で何か面白くないことがあったのかな」など思いを巡らしてしまいます。

どこの家庭でも朝は忙しく、子どもたちにかまっている時間は少ないですが、起きてきた時の「おはよう」、学校に行く時の「行ってらっしゃい」は子どもたちの1日の大きなエネルギーです。あいさつの言葉が、今日一日の生活を気持ちよく楽しくさせる役割を果たしていると思います。

元気がなかった子どもも教室にかばんを置くと、元気な友達にエネルギーをもらい一緒にグラウンドに走っていく姿を見るとホッとします。

今日もがんばれ!!

日野町少年補導委員 池内 美代子

ひとりで悩まないでまずは相談を!

○相談時間：月～金 9:00～16:30

○電話相談 ○面接相談

*お気軽にお越しください。

(秘密は厳守します)

○場所：日野町少年センター

(日野町勤労福祉会館2F)

電話 0748-53-1325

E-mail hino.t-syonen.c@rmc.ne.jp



メールアドレス
QRコード

あらゆる薬物乱用をなくそう

「ダメ。ゼッタイ。」普及運動

～6月20日から7月19日まで～

覚醒剤や麻薬、大麻、危険ドラッグなどの薬物乱用は、あなたの健康やあなたの周りの人々に計り知れない害悪をもたらします。たとえ1回だけでも「乱用」です。絶対に使わないでください。